

ちくさで踊ろう

作詞・島田陽子
作曲・池田八子
唄・嶺よ子

やまに だかれた みどりの まちは あかるい
こーえがー よくにあう わかばあおばの もえたつはるは
もりのすぎさえ はなやくよ ちくさ よいとこ みどりの一ふるさ
と わかい ころで ておつなぐ

一、山に抱かれた 緑のまちは

あかるい声が よく似合う

若葉青葉の 萌え立つ春は

森の杉さえ はなやくよ

ちくさよいとこ 緑のふるさと

若いころで 手をつなぐ

二、ここは源流 名水わいて

ちくさの流れは 青く澄む

おどるヤマメよ かじかも鳴いて

風は涼しく 吹きわたる

ちくさよいとこ 緑のふるさと

若いころで 手をつなぐ

三、溪谷を紅葉が いろどり初めて

どうだんつつじも 燃えあがる

みんな おいでよ スポーツまつり

秋の笑顔だ 晴ればれと

(くり返し)

四、樹氷かがやき 高原白く

里には風花 舞いしきる

四季のめぐみの あふれるまちで

夢とちからを 寄せあおう

(くり返し)

五、ちくさはがねの 歴史を伝え

昔をしのばす たたら跡

遠い祖先の ひらいたまちに

育つ子どもが 未来ひらく

ちくさ よいとこ 緑のふるさと

若いころで 手をつなぐ

ちくさで踊ろう

踊り方：この踊りは盆踊り風にヤグラを中心に
に右向け右に進み、円をつくり8呼
間聞いて①の動作に入ります。



振付 表現・花柳興桂



① チョチョンのチョンと打つ。



② 右足を軽く二度タッチするように両手は軽くにぎり、左手を胸に右手少し右横に。



③ 左足を軽く二度タッチするように両手は軽くにぎり右手胸に左手少し横に(②の反対動作)。



④ 足を右左右と進み、左足を横に。両手右上横でチョンと打つ。



⑤ 足を左右左と進み右足を横に。両手左上横でチョンと打つ(④の反対動作)。



⑥ 右足を出し、両手指先を合せるように。



⑦ 足をそのまま、両手上から下に広げるようにおろす。



⑧ 左足を前にそろえて、両手中から外上に広げる(末広びらき)。



⑨ 右足を軽くふみ、両手タッチするように右手上、左手下。



⑩ 左足を軽くふみ、両手タッチするように右手上、左手下。又もう一度⑨の動作をする。



⑪ ⑦の動作をする時に、少しひざをおり両手は前に。



⑫ ⑧の動作をする時、両ひじが曲がらないように胸をはる。